

官製談合事件の検証と再発防止を求める決議

本町発注の下水道工事の官製談合をめぐる、本町職員が逮捕、起訴された事件は、町民に大きな衝撃を与え、町政に対する信頼を著しく失墜させました。

事件が与えた影響は計り知れず、これまで町政が築いてきた信頼を根本から崩す、町政始まって以来の不祥事です。

二元代表制の一翼を担い町政を監視する立場の本町議会としても、事件の発生を防ぐことができなかつたことについて、その責任を感じているところでもあります。

そのため町政の監視機能の強化に向け、議会として全議員を委員とする重大事件等対策特別委員会を設置し、精華町重大事件等調査委員会の報告と本町の改善策を基に、入札制度の改善策や議会のチェック機能の強化策などを検討し、特別委員会の総意として意見をまとめました。

本町議会として、再発防止に向け一層の努力をしていく所存です。

一方、町長にあつては、このたびの事件を深刻に受け止め、事件の背景や事実を徹底的に検証し、このような不祥事を二度と繰り返すことのないよう万全の措置を講じることを求めます。

さらに、町政に対する町民の信頼を回復するために、全力を尽くすことを強く求めます。

以上、決議する。

令和2年3月2日

京都府精華町議会